

松 道 第 464号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

松原市長 中 野 孝 則



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件について別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府 松原市

地方の道路は、住民にとって、生活を支え、命を守り、活力の基盤となるものであり、今後の道路整備や維持管理等に支障が生じないようお願いしたい。

- 1・生活圏道路の渋滞解消をするため、新設道路に対する特別な補助制度の確立をお願いしたい。
- 1・高速道路の料金体系の見直し(料金の引下げ制度の拡充)をして、一般道路の混雑解消に努めていただきたい。
- 1・高齢者や障害者等に対応する、歩道の段差解消などのバリアフリー化事業に特別な補助制度の創設をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

大阪府 松原市

○現状

- 1・本市には、幹線道路同士の交差点で渋滞が頻繁に発生している
- 1・南河内地域では、道路整備はいまだ十分とは言えない状況により現在阪神高速三宅インター等に車が集中し、一般道が混雑している。
- 1・本市においては、府道高速大和川線・堺松原線の整備も進んでいる。

○課題

- 1・立体化やバイパス道路の建設。
- 1・南河内地域への高速道路の延伸。
- 1・府道高速道路の整備に伴い、今後、本市への車の流入がより一層集中化することが懸念される為、周辺道路整備(市道等)の効率化を図るため(高速道路)施工者において、周辺も含めた一体的な環境整備が実施できるような制度・手法の確立を早急にお願いしたい。

基本的方向 本市は、広域交通幹線道路が通る交通結節地域であり、広域的な立地条件に恵まれています。一方、生活道路の整備は遅れており、都市発展の基盤となる道路ネットワークの整備は緊急の課題となっています。 生活道路の整備は、事業化にあたり困難な問題が数多くありますが、幹線道路や都市計画道路の整備とも併せた総合的な道路体系の検討の中ですすめていく必要があります。 このため、総合的な道路整備計画を策定し、生活道路の整備などを計画的にすすめていきます。	(1) 道路ネットワークの形成 ①総合道路整備計画の策定 産業活動・生活活動など、諸活動の基盤となる幹線道路網の体系的な整備を推進するため、幹線道路や生活道路の連携を重視した総合的な道路整備計画を策定します。 ②都市計画道路の整備 幹線道路ネットワークの形成にあたって、都市計画道路の計画的な整備を推進します。なお、整備にあたっては、市街地再開発や区画整理などのまちづくりと一体となった整備も検討していきます。 また、隣接する市町と連携・調整を行い、都市間のネットワークについても整備をすすめます。 ③交通ターミナル拠点の整備 市域を通過する広域幹線道路を十分に活用していくため、市域内から広域にアクセスするような交通施設の整備を検討します。 また、広域幹線道路を活用して市外から人・ものを呼び込むため、道路整備と一体化した施設整備などについても検討を行います。 (2) 生活道路の整備 ①生活道路整備の充実 生活道路の整備の推進にあたっては、幹線道路との連携を重視し、道路整備計画に沿った計画的な整備をはかります。 また、地域と一体となって保全・管理をすすめる、通過交通の排除をはじめ、歩車道の分離や段差の解消など、だれもが安全で安心して通行できる歩行空間の確保などをめざします。	②狭隘道路整備の促進 歩行者の安全および防災対策のため、狭隘道路などについては、十分な道路幅員が確保されるよう市民の協力のもと整備をすすめていきます。 (3)「特色ある道づくり」の整備推進 歴史や文化など地域の個性を活かした道づくりや、街並み、景観の形成を先導する道づくりを「特色ある道づくり」として位置づけ、個性豊かな道路空間を創出し、地域のシンボルロードとしての整備を推進します。 (4) 交通環境の整備 ①駐輪・駐車場の整備 違法駐車・駐輪による交通渋滞や交通事故を防ぐため、駐輪場、駐車場の整備をすすめるとともに、市民への啓発をはかります。 ②道路空間・周辺空間の活用 道路空間を都市における公共空間として位置づけ、地下空間などの有効利用について長期的な視点から検討をすすめます。 また、道路整備と周辺空間の一体的整備によるまちづくりの方向についても検討をすすめます。
--	--	---